

大名美恵子です

東海村村松 2401-2 電話・fax 284-0761

携帯電話 090-3961-8578

E-mail toukai@oona-mieko.info

第4次東海村子ども読書活動推進計画がスタート



第4次東海村子ども読書活動推進計画

(令和7～11年度)



子どもが読書で輝くまちづくり
～未来へつながる本との出会い～

子どもが読書で輝くまちづくりに向けて

伴敦夫 東海村教育長のあいさつから

読書は、言葉を学び、感性を磨き、表現する力や創造する力を高めるとともに、情操を育み、人生を豊かに生きていくために欠かせないものです。また、それは、時には勇気や知恵を与え、計り知れない力をもたらししてくれます。とりわけ人格が形成される子どもたちに与える影響は大きいものです。心身ともに柔軟な子どもたちに、読書を習慣として身に付けさせることは、今、大きな課題となっており、子どもたちに本と出会う機会をつくり、読書の楽しさを味わわせ、それを習慣付けることに、真剣に取り組まなければならないと考えています。

[第4次計画の目標]

- ①子どもたちと本との出会いを、みんなで支援します。
(機会の提供)
- ②本とつながる、人とつながる、地域とつながるように連携を図ります。(連携)
- ③だれもが本の魅力を見つけられる出会いの場をつくり
ます。(環境づくり)

読書が足りない大名より

本計画書は村公式 HP に UP されていますのでぜひご覧ください。資料編では、児童生徒への読書に関するアンケート結果なども掲載されています。

読書の大事さは「私自身の読書が不足していて後悔している」、ことも含めて、日々実感しているところです。東海村の子どもたちにはぜひ「本好きになってほしい」、「たくさん読んでほしい」。そしてぜひ「生きる力にしてほしい、未来を豊かなものに切り開く人間に育ってほしい」と心から思っています。また本とのふれあい・親しみは赤ちゃんの時から始まるのが大事だとも感じています。

しかし現在の児童生徒においては、私が子どもの頃とは比べ物にならないほど毎日が忙しくなっていると見えます。その中で、心身の安全と成長を確保しながら本を読む時間をどうつくるのか。本計画は『子どもの読書活動の推進に関する法律』に基づき策定されていますが、国は、現実として子どもたちが「本との出会いや本の魅力を実感できる」環境を保証しているのか疑問があります。

村には、国が責任を持ちきれていないこの点についても、しっかり加味しながら計画の推進、目標の達成をめざしていただけたらと思います。成長期の子どもたち一人ひとりが、自分なりに成長することを認めつつ、心身の負担を助長する取り組みにはしない、ぜひよろしくお願いします。見守っていきたいと思います。

6市村(日立市・常陸太田市・那珂市・ひたちなか市・水戸市・東海村)首長懇談会が行われました

4月11日、東海村役場で6市村懇談会が開かれ、新エネルギー計画と東海第二原発中央制御室内火災に関する説明及び質疑応答が行われました。原電からは、村松衛社長が直に説明されたとのことでした。